

製品名: CD163 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82379**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、ウサギ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	125.4kDa

抗原情報

遺伝子名	CD163
別名	M130; MM130; SCAR11
遺伝子 ID	9332.0
SwissProt ID	Q86VB7
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD163 (AA: 余分な 42-259) の精製された組み換え断片。

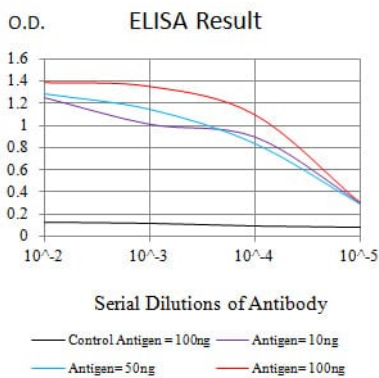
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、スカベンジャー受容体システインリッチ（SRCR）スーパーファミリーに属し、単球およびマクロファージでのみ発現する。マクロファージによるヘモグロビン / ハプトグロビン複合体の除去およびエンドサイトーシ

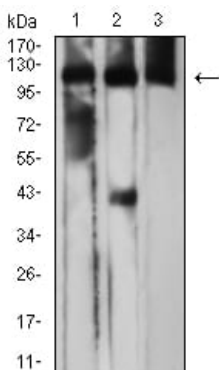
スに関与する急性期制御受容体として機能し、遊離ヘモグロピンを介した酸化ダメージから組織を保護すると考えられている。また、このタンパク質は細菌に対する自然免疫センサーや局所炎症の誘発因子としても機能する可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。

研究分野

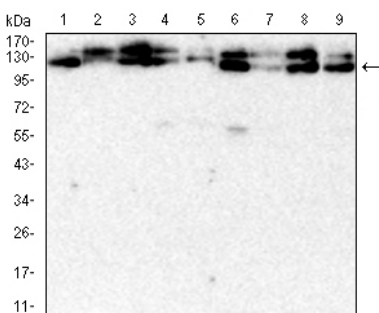
画像データ



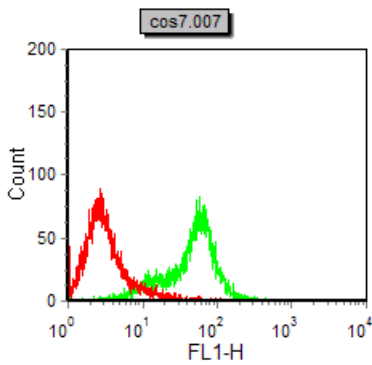
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



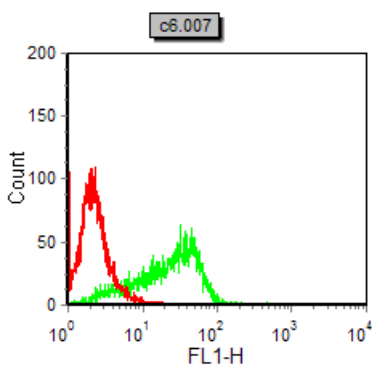
Raw264.7 (1) 、 NIH/3T3 (2) 、 HL-60 (3) 細胞溶解物に対する CD163 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



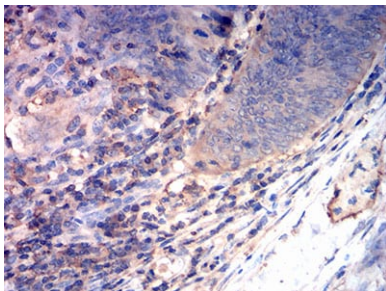
PC-12(1) 、 Raw264.7(2) 、 NIH/3T3(3)、 NRK(4)、 C2C12(5)、 C6(6)、 L1210(7)、 F9(8)、 CHO3D10(9)細胞溶解物に対する CD163 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



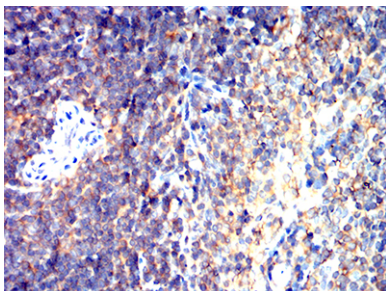
CD163 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した COS7 細胞のフローサイトメトリー分析。



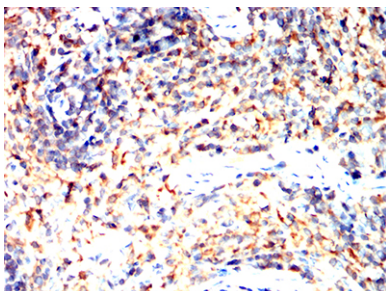
CD163 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した C6 細胞のフローサイトメトリー分析。



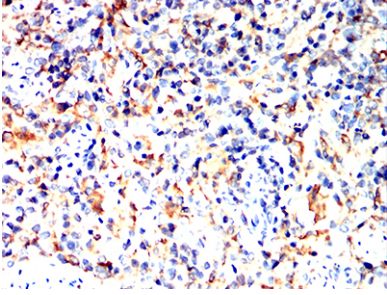
DAB 染色による CD163 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD163 マウス mAb を使用したパラフィン包埋マウス脾臓の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD163 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ラット脾臓の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD163 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ウサギ脾臓の免疫組織化学分析。